

遊技台搬入搬出の新定番『マジかりフト』登場

スリーストンから登場した電動ミニリフト『マジかりフト』。遊技台の搬入搬出を大幅に効率化する製品として関心を集めそうだ。

**ボタンひとつで高さ調整
台の持ち上げスムーズに**

『マジかりフト』最大の特長は、電動式による簡便な遊技機の昇降機能が搭載されている点だ。遊技台の納品時などに負担が大きかったトラックの荷台から地

面への遊技台の積み下ろしや、地面に降ろした遊技台のリフトアップを、ボタン操作で素早く行える。力を使わず簡単に高さ調整が可能となっており、従来のように複数人での搬入搬出作業は不要だ。それにより作業時間と負担を大きく削減し、安全

性の向上にも寄与する。

**四輪可動で小回り抜群
スムーズに搬送が可能**

機体は四輪可動で、小回りが利く設計となっている。そのため狭い通路や限られたスペースでも自在に操作でき、遊技台を載せたままでも安定した移動が可能だ。従来は難しかった現場での運搬も、『マジかりフト』ならスムーズに対応できるようになる。

さらに、本機には段ボール箱の上げ下げにも対応したスライド板が搭載されており、重量物を滑らせるように載せられる仕組みとなっている。このスライド板は使用しない時にはリフト部の奥に立てかけて収納でき、省スペース性にも優れる。また、駆動はバッテリー式で、電源確保が難しい現場でも柔軟に対応

できる点も現場作業において高い評価を得ている。

加えて、重量物の持ち上げによるケガのリスク軽減や、新人でも簡単に操作できるというメリットがあるとともに、作業の属人化を防ぐ意味でも効果が見込めそうだ。もちろん、体力に自信のないスタッフでも安心して扱える点が、従業員の多様性や働き方改革にも繋がるだろう。

現場の働き方を変え一台に

なお『マジかりフト』は特許も取得しており、その独自性と信頼性が公式に認められている。シニア従業員が多いホールや、少人数で運営されるホールの負担軽減が求められる中、安全性と効率性を兼ね備えた『マジかりフト』が、遊技台搬入搬出の常識を覆す存在になっていきそうだ。



右がリフトアップ、左がリフトダウンの様子。サイズは高さ1,800ミリ、横780ミリ、奥行き780ミリ、重量約100キロとなっている。



四輪可動の車輪がついているため、取り回しも容易だ。



上下動、それぞれのボタンで簡単操作可能。